

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	<small>ながきなんぶ</small> 長崎南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	<small>ながきし</small> 長崎市ほか8市町
事業実施期間	H28～H32（5年間）	事業実施主体	長崎県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、長崎県西南部及び南東部に位置し、県庁所在地周辺を中心部は都市化が進んでいる。</p> <p>本地区の森林面積は77千ha（森林率47%）、対象民有林は65千ha（森林全体の84%）、うち人工林は31千ha（人工林率48%）であり、林業生産額は26億円となっている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は490kmで、公道等を含むと林内道路密度は38.0m/haとなっている。</p> <p>本地区は森林に恵まれており、41年生以上の利用可能な人工林が62%を占め、その多くが木材資源として本格的に利用が可能な段階を迎えており、県産材の利用拡大を通じた林業の再生を図っていくことが望まれるとともに、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、必要な施業を適時・適切に行い、森林の健全性を保っていくことが求められている。</p> <p>このため、長崎南部森林環境保全整備事業計画に基づく森林整備を実施し、間伐等の採算性の向上に向けた施業の集約化、路網整備と高性能林業機械との組合せによる低コスト作業システムの構築、森林所有者への収益還元率の向上等、最終的には持続的、安定的な林業経営体系を構築することを目標とする。</p> <p>具体的には、本事業により、公益的機能を重視するため、計画に基づき森林の配置や齢級構成に応じ、森林の有する多面的機能の発揮の確保が可能となる間伐をはじめとした森林整備を実施する。</p> <p>なお、自然環境等の状況等については、本地区は雲仙・多良山系などを擁しており、豊かな自然や動植物の生息に配慮した森林整備及び林業生産を行ってきており、特に自然保護等に関する問題は生じていないところである。</p> <p>更には、森林の多くが農耕地や住宅地に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備や土木、公園、観光関係において関係部局等との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,687ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：2,218,057千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.80 (総便益(B) = 19,624,752千円、総費用(C) = 6,999,731千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性などから見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

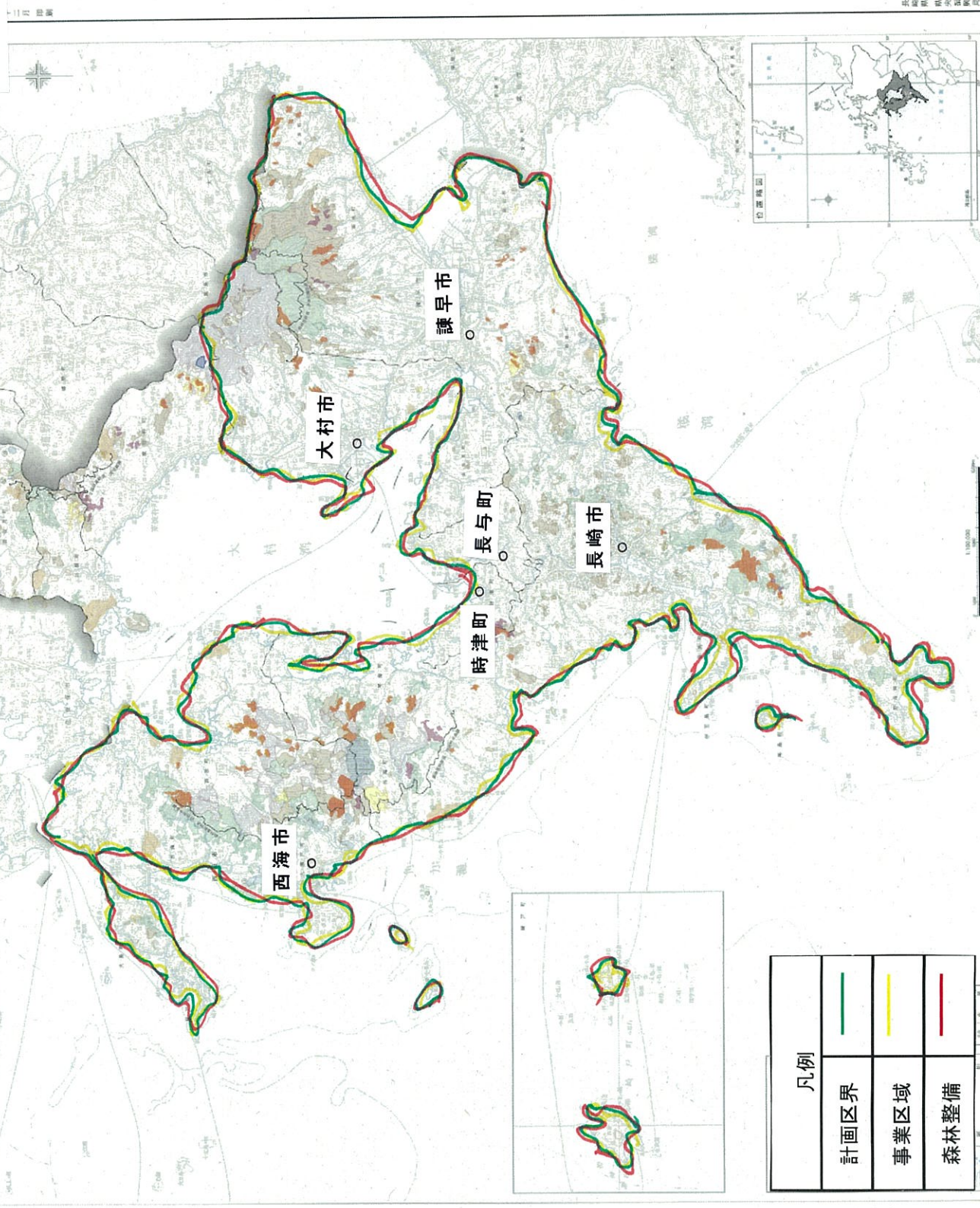
都道府県名: 長崎県

地域(地区)名: ^{ながさき なんぶ}長崎南部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,469,871	
	流域貯水便益	1,522,866	
	水質浄化便益	4,423,545	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,398,929	
	土砂崩壊防止便益	53,643	
環境保全便益	炭素固定便益	4,755,898	
総 便 益 (B)		19,624,752	
総 費 用 (C)		6,999,731	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,624,752}{6,999,731} = 2.80$		

森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図 (1/2)

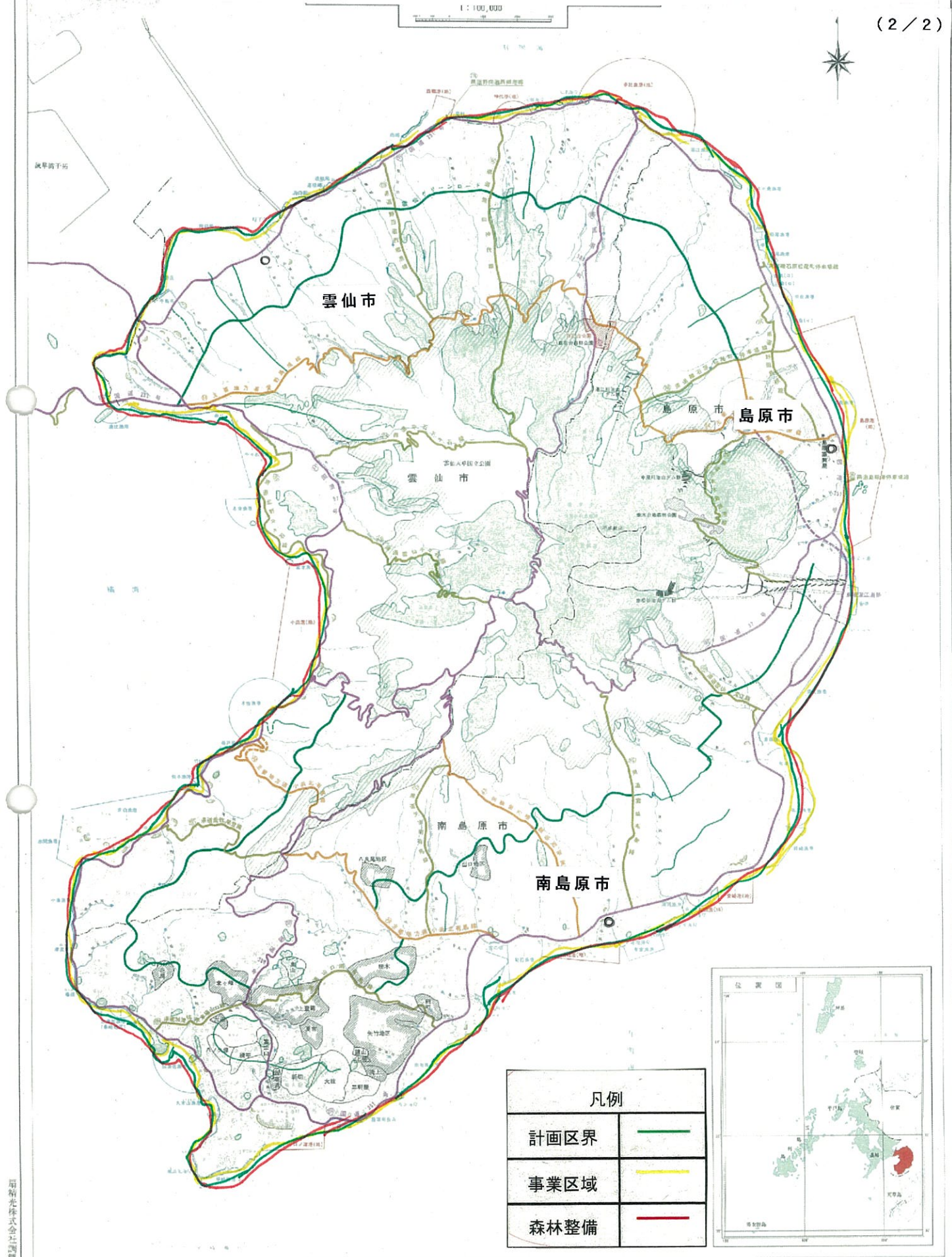


凡例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)

森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図

(2/2)

1:100,000



凡例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	



昭和株式会社製

平成十八年三月作成

長崎県島原振興局

この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の5万分の1縮尺図を複製したものである。(承認番号 甲19後、第03号)